

実践レポート

【報告者】 橋本賢治		
【学年】	5年	【教科・単元名など】学活「本当の仲間」
【実践内容】		
<p>自分の思いを伝え合い、本音で向き合える学級集団の雰囲気をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none">・5年生になって今までに友達関係で苦しんだこと、つらかったことを学習シートに書く。・「強い言葉を言われた。」だけでなく、どんな言葉を言われたのか具体的に書くようにした。・友達の名前は書かないようにした。 <p>ほとんどの子どもが具体的に嫌だったことを書くことができた。</p> <ul style="list-style-type: none">・書いたことを発表する。 <p>発表することに全員がためらっていたが、勇気を出して一人が発表すると、それにつられて数名が発表できた。</p> <p>「『 』と言われたことがある。なぜ私だけ言われなければならないのか悩んだ。」</p> <p>「自分にだけ言葉遣いがきつい人がいて、話すのが怖い。」</p> <p>「遊びに自分だけ参加させてもらえないことがある。」</p> <p>「服装が変だと馬鹿にされる。」</p> <p>普段発言の多い子よりも思いが強い子の方が発表した。涙ながらに今までの思いをみんなに伝えていた。</p> <ul style="list-style-type: none">・発表してくれた友達へ言葉を返す。 <p>「 さんが『言葉がきつい』と言ったのはたぶん私です。悪いことをしたなと思っています。すみませんでした。」</p> <p>「遊びに参加させなかったのはオレです。ごめんなさい」</p> <p>「『 』と言ったのは私です。そんなに苦しめているとは思いませんでした。すみません」</p> <p>「 さん、今度苦しいときがあったら私に言ってください。一緒に考えようね。」</p> <p>「オレもみんなを気付かないうちに苦しめていたと思う。これから言葉遣いに気をつけます。」<ul style="list-style-type: none">・これからの5年2組を考える。<p>話し合いの結果「毎日全員と話す」ことになった。</p></p>		
【成果と課題】		
<p>授業の感想で発表できなかった子どものほとんどが「今までこのクラスはいじめはないと思っていました。今日苦しんでいた人がたくさんいたことを知り驚きました。私も知らないうちにいじめていたかもしれません。これから言葉遣いには気をつけようと思います。」という内容の感想を持っていた。本音を語ることで仲間作りを意識することができたと思う。</p> <p>クラスの半数以上が涙を流すなどして、かなり真剣な雰囲気で授業が進んでいったため全員がつらかった思いを共有することができたと思うが、これで苦しむ子がなくなることはない。この思いをつなげていくことが大切である。この授業で終わりではなく、今後様々な場面で言葉をかけ、子どもたち全員が「学校に来るのが楽しい」と思えるように取り組んでいきたい。</p>		